

クロスワードタイム

3月、4月は家庭でも職場でも行事の多い時期です。そのうえ桜の季節でもあり華やかな気分になりますね。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■切:4月19日(金) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント:今年はこの年ですね

1	2	3	4	5	6	7	8	9
9				10				11
12			13	14		15		
		16			17		18	
19	20			21		22		
23			24		25			
26			27		28		29	
30		31		32		33		
	34		35		36		37	
38					39			

ヨコのカギ

- おなじみの二枚貝を酒で蒸した、居酒屋の定番メニュー。
- 比喩として、企業の経営者や管理職、スポーツチームの監督などを指します。
- 1884年、ここを通る子午線を本初子午線とし、世界時の基準として決定。「○○○○○天文台」。
- お酒を器に入れて適当な温度に温めること。
- 人の住んでない家。
- 自然界を支配している法則。「自然の○○」。
- 音楽用語で、混声四部合唱で上から2番目の声部。
- 自分の流派と違う他の流派。
- 赤唐辛子の熟したものに酢や塩を加えた辛味ソース。
- 土地の表面が、水平面に対してある角度をもっているような土地。
- レコードやCDに付いている、曲の歌詞が書かれているもの。
- 人々の心を引きつける強い魅力のこと。
- 事情がこみあっていろいろ変化のあることを「○○曲折」といいます。
- 部分ごとの小計を順次に加えて合計を出すこと。
- 崖からほぼ垂直方向に落下する水の流れ。
- ある地方だけで歌われている俗謡。土地の歌。
- 大酒を飲む人。
- 物と物との間。中間。
- 他国の国籍を得て、その国民になること。
- 左右の肩にあつて、腕の骨と胸をつなぐ逆三角形の大きな骨。
- 物事に対して、感じたり考えたことが表情、動作、言葉に現れたもの。

タテのカギ

- 1338年、征夷大將軍となり、室町幕府を創始した初代將軍。
- 砂状に細粒化した自然金のこと。
- 学校教育の一分野で、自然科学を内容とする科目。
- 普通は酒類とみなされる飲料で、アルコール分を含まないこと。
- 2007年、種子島宇宙センターから打ち上げられた、日本の月探査機の愛称。
- 物事の筋道が立たず道理に合わないこと。
- 代々続いて商売をしている格好のある店。
- 手ぬぐいをねじって頭に巻いたもの。
- 日本を代表するSF作家の一人で、小松左京、星新一と並んで「SF御三家」とも称される。
- 帰り道。帰路。
- 「SAY YES」のヒット曲で知られる「チャゲ&○○」。
- 大会や集会などの初めに行われる式典。
- 江戸深川六間堀の門人杉山杉風の屋敷にあつた、松尾芭蕉の家。
- 個人的な利益のこと。
- 1993年、憲政史上始めて女性として衆議院議長に選出された政治家。
- 1970年代後半に活躍したピンクレディーはミーと誰?
- 打楽器の一つで、木製・金属製の胴に皮などを張ったもの。
- 木綿のひとえの着物。夏や湯上がりに着用。
- 「今」を英語で言うと?
- お笑いコンビ・キヤイ〜んのボケ担当。「○○鈴木」。

Vol.796クロスワード 正解と当選

答えは「ユキダルマ(雪だるま)」でした。

オ	セ	チ	リ	ヨ	ウ	リ	マ	ツ
ト	イ	ソ	ウ	カ	ン	ズ	ル	
シ	リ	ヨ	ク	ケ	ン	サ	キ	タ
ダ	セ	イ	ツ	ム	ク	リ	ロ	
マイ	マ	イ	リ	ネ	ポ	ウ		
	ト	チ	ガ	ラ	エ	ン	ヤ	
サ	ン	グ	ラ	ス	カ	ー	キ	シ
イ	サ	シ	コ	ミ	シ	カ		
カ	サ	コ	ー	キ	ユ	ー	テ	ン
イ	シ	ヨ	ウ	リ	ビ	ン	グ	

多数のご応募ありがとうございました。次の方が当選されましたのでクオカードをお送りいたします。またのご応募をお待ちしています。

稲田隆司、矢部葉子(アサマ)、池上 剛、椿本暁子(鴻池)、
 図師 満(佐藤)、田村幸大(銭高)、花井 敦(大日本)、
 谷本真由美(大和小田急)、上村智雄、山田倫大(鉄建)、藤原直樹(東洋)、
 上野沙織、小旗智美、小堀和伸、中田 実、真鍋達朗(戸田)、
 板倉 良、穴戸 豊(飛鳥)、小宮隆之、谷口華子、浜田瑞穂(西松)、
 勝見嘉人(JS)、村田浩一(野村)、中本千景(ハザマ)、
 菊地清史(松村)、朝生純一(馬淵)、町村賢一(丸彦)、
 中鶴啓子(三井住友)、中西里美(名工)、竹内千寿子(横河) <敬称略>

編集後記

日本経済新聞社では、女性が働きやすい会社ランキングを毎年発表しています。ランキングの上位には、日本を代表するメーカーが名を連ね、50位以内に建設会社は入っていません。建設産業で女性が働くということはそんなに難しいことなのでしょうか。これまで建設産業に係わる人々は誤解をしていたのかもしれませんが、「女性を養うのが男の甲斐性」だとか「現場は危険だから女性には無理」といった考えは、女性をかばい、大事にしている事だと思えます。しかし、それを盾に、職場の環境や制度改革を実施せず、女性の進出する機会を奪っていたならば、それは自ら首を絞める結果になっているのではないのでしょうか。

多くの女性が建設産業に進出することにより、今までの男性中心の視点では見えてこなかった問題が浮き彫りになるでしょう。女性が働きやすい、いわば優しい職場に変わること、今まで建設産業を敬遠していた若い世代も入ってきやすい環境になると思います。

日建協では、建設産業の魅力を上げるための様々な取り組みを実施してきました。この取り組みが産業全体に広がって、近い将来花開くことを切に願います。(平山)

船い

「北海道日本ハムファイターズ」。私はこのプロ野球チームが大好きだ。北海道勤務が長かったからということもあるが、それだけではない。明確なビジョンを持ってチームづくりをしているところ、ここに私がこのチームを好きな理由がある。

育成で勝つ。このチームのビジョンの一つだ。このビジョンを球団全員で共有しているところにこのチームの凄味があると思う。例えば、フロント、監督及びコーチ、そして選手の役割はこのビジョンに沿った形で決められるという。監督に選手の補強についての権限は無く、監督は与えられたチームでいかに勝つかを考えれば良い仕組みになっている。選手の育成についてはフロントの長期的な計画に基づき実際にスタッフが選手を指導する。当然勝てないシーズンもあったが、決して監督一人が責任を負わず、チーム

全体で敗因を分析し翌年のチームづくりに臨むらしい。チームによってはドラフトやトレードを監督頼みにし、監督一人の個性によってチームづくりがされているように見受けられることもある。これでは監督が変わったら、チームづくりも一からやり直しになってしまい、結果的に継続的なチームの強化はできない。エースが抜けても、監督が交代しても、優勝。昨年のチーム成績はまさに球団のチームづくりの勝利ではないかと思う。

まさに組織とはこうあるべき。組織である以上、人員の交代はやむを得ない。しかし、そのたびにビジョンが変わり、一から組織づくりをすることは好ましくない。勝つため、つまり物事を成し得るために、明確なビジョンを皆で共有し組織づくりをしていくべきだと思う。(まえはら)